

#2 総合診療 専門研修プログラムの紹介

国立病院機構 東京医療センター

歴史があり実績も豊富。

総合診療分野のトップランナーへ

東京医療センター 総合内科 科長 プログラム責任者 **鄭 東孝**

当院の総合内科(総合診療科)は1986年発足という実に30年以上の長い歴史があり、1992年からレジデント一期生の採用を開始以来、数多くの総合診療医を輩出してきました。卒業生の多くが総合診療分野のトップランナーとして各地で活躍しており、当院で総合診療の研鑽を積んだ後、全国の先輩たちを頼ってさらにキャリアを積み重ね活躍するというサイクルができあがっています。また、引き

続き当院に残る若手医師がレジデントを指導する屋根瓦方式の教育体制やチーム医療体制が確立されていることも特徴です。

総合内科は入院患者の約2割(1日あたり80~100人)、外来もかなりの数を診ており、総合診療医としての幅広い実力を獲得できる最適な医療環境にあります。

医師は人を尊重する仕事です。我々は日々の仕事をする上でも仲間



たちを尊重したチーム医療を実践しており、科の雰囲気が非常に良いことも大きな魅力です。

PROFILE

出身地：東京都
出身大学：産業医科大学(1989年卒)
宝 物：職場の仲間
座右の銘：上手いかわなくて当たり前

**どんな症例であっても断らない
確かな実力と自信を獲得**

東京医療センター 総合内科 指導医 **林 智史**

総合診療専門医は内科専門医とのダブルボードが可能であり、また、総合診療のサブスペシャリティとして新・家庭医専門医制度や病院総合診療専門医制度もスタートします。総合診療分野の道は大きく広がっており、長い歴史と豊富な実績をもつ

当院の総合内科では、こうした総合診療分野に関わる資格要件を満たしていることはもちろん、各科との垣根が低い他科の先生からも学びやすく、さらに各科で定期的にオンライン勉強会も開催されており、幅広い知識を吸収しやすい環境にあるこ



とも特徴です。

また、当院は東京のほぼ中心である、目黒区、世田谷区を管轄している病院であり、隣には駒沢オリンピック公園もあるなど立地の良さも魅力でしょう。どんな症例でも断ることなく、自信をもって診ることができる、当院の総合内科でなら「わたしは医師です!」と自信をもって言い続けられる実力を手に入れるはず。



PROFILE

出身地：神奈川県
出身大学：大分大学(2013年卒)
宝 物：家族
座右の銘：一期一会

VOICE × 専攻医

**精神科医を目指すために
総合診療医の実力を獲得する**

総合内科(総合診療プログラム1年目) **井上 麻理**

目指している精神科医として、医学だけではなく心理、社会面から患者さんの全てを診る総合力が必要だと思い、総合診療に実績のある当院で研鑽を積んでいます。当院の総合内科は規模が大きく、バックアップ体制も抜群で安心して研鑽でき、いろんなバックグラウンドを持った先生方から幅広い知識を吸収できるのも魅力です。



PROFILE

出身地：神奈川県
出身大学：順天堂大学(2019年卒)
宝 物：妹
座右の銘：行動基準は好奇心

**医療面だけではなく、
心理・社会的アプローチも学べる**

総合内科(総合診療プログラム2年目) **高橋 快斗**

総合内科では、外来、病棟、救急と患者さんは非常に多く、バリエーションに富んだ症例を診ることができ、かつ、手厚く、的確な指導を受けられることが特徴です。家庭医療専門の先生からは心理や社会面からのアプローチ方法も学べるなど、総合診療の奥深さ、楽しさも実感しながら着実に成長することができます。



PROFILE

出身地：東京都
出身大学：鳥取大学(2018年卒)
宝 物：家族
座右の銘：今を生きる



国立病院機構
東京医療センター

住所 〒152-8902
東京都目黒区東が丘 2-5-1
WEB <https://tokyo-mc.hosp.go.jp/>

病床数 **739** 床 診療科数 **30** 科

東京医療センターの特徴

「東京医療センターは患者の皆様とともに健康を考える医療を実践します」という基本理念のもと、高いプロフェッショナルリズムを持ち、多くのスタッフが教育を一つの仕事として位置づけて、臨床研修指導資格を持つ医師は100名以上在籍する。